

超巨大ネギ坊主！？ 「アリウム・ギガンテウム」が見頃です

京都府立植物園では、「アリウム・ギガンテウム」が見頃になりました。

タマネギ、ニンニク、ラッキョは同じヒガンバナ科ネギ属の仲間です。高さ1.2mの花茎の頂点に小花を球状に密生させた、直径約20cmの花序をつくります。開花期には沈床花壇に群生したアリウムの花が空中に浮いている様に見える不思議な光景を楽しむことができます。

性質は、暑さに弱いため、植えっぱなしにしていると高温多湿な日本の夏には耐えることができずに球根が腐ってしまいます。そのため、開花が終わる6月中旬には球根を掘りあげて、植付けを行う秋までは、雨の当たらない涼しい場所で乾燥保存し、大切に管理しています。

珍しい「巨大ネギ坊主」をぜひご覧ください。

アリウム・ギガンテウム

科 名：ヒガンバナ科

学 名： *Allium giganteum*

生育タイプ：球根

原産地：中央アジアに分布する

開花期：5月中旬～6月上旬

草丈1.2～1.5mに成長し、直径約20cmの球状の花をつける。花色は紅紫色で花壇植えまたは切り花等に利用されている。

